

組織拡大の流れを!!

JR東日本、入社式歓迎の行動を展開! 4/1



(組合員の購読料は組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5 交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 伊藤秀樹
編集責任者 伊藤隆夫

No. 671 定価 20円

2008年
4月 28日

もう一人の仲間を国労に

4月1日、2008年度JR東日本・貨物会社の入社式が行われ多くの新入社員が「期待と不安」を胸に晴れてJR社員の仲間入りとなりました。

国労東日本本部は、例年取り組んでいる新規採用者の皆さんへの歓迎行動を東京地本の仲間を中心に、JR東日本の入社式会場となった「さいたま市」で行いました。(JR東日本・貨物の入社式会場となった「さいたま市」で行いました。)
今号は、①JR東日本新規採用者歓迎行動報告 ②組織拡大に向けた委員長のメッセージ ③組織拡大報告 としました。職場から組織拡大の運動を取り組みましょう!

風に乗る桜舞う4月1日のさいたま市。「国労です。」「入社おめでとうございます。」と言う先輩社員の声に会釈をしながら【入社おめでとう国労です】のティッシュを受け取る多くのJR一年生の皆さん。国労東日本本部は、東京地本の仲間を中心にJR東日本2008年度入社式会場となった「大宮ソニックシティ」周辺で、緊張の面持ちで入社式会場入りをする新規採用者の仲間たちに対し入社歓迎の激励行動を行いました。

今年度は、東日本・貨物会社共に前年を上回る多くの仲間がJR社員の仲間入りとなりました。入社式以降多くの新入社員が教育・研修後に職場配属となります。机上の教



ポテンシャル	187
鉄道事業	1677
医療	49
合計	1913
男性	1517
女性	396

2008年度 新入社員数 東日本↑ 貨物↓

本社	34
北海道支社	50
東北支社	45
関東支社	107
東海支社	42
関西支社	105
九州支社	30
合計	413

育では補えない現場教育と共に、この先同じ職場で働く仲間として国労加入を呼びかけましょう。



国労への加入を歓迎します

執行委員長 伊藤秀樹
員9800名が結集している労働組合です。

私たちは国労東日本本部は、JR東日本に働く社

私たちはJR東日本と労働委員会の場を通じて、国労組合員を差別せず「公正・公平」に扱うことを求め取り組んできました。2006年11月に「中央労働委員会」において、昇進事件・配転事件など全ての係争事件の和解が成立し、JR東日本会社と国労東日本は「健全で良好な労使関係」を築く事を確認し、「安全・安定輸送」などの諸課題改善に向け良好な労使関係を築き、健全なJR東日本の発展を目指しています。

JR東日本社は、一日1600万人のお客さまが交通手段として選択される会社です。何よりも、「安全」「安心」を提供できる会

社でなければなりません。社員一人一人が日々の仕事を通じて責任を果たすことにより、お客さまが「安心」してご利用いただけるのと私たちは考えています。

一方、私たち労働者も「守ること」があります。皆さんが職場で働く時の職場環境や「労働条件」、月々の賃金(給与)など、生活していく上で大事なことを「守り」「改善」していくために労働組合は必要です。

また、社員は時に「間違えたり」「解らない」事があります。同じ職場で働く社員同志は明るく支え、協力し合って頑張っていく事が「安全」「安心」輸送には大切と考えています。

国労組合員は、多くの経験をもって職場を明るく、楽しい職場を目指して頑張っています。JRで働く社員の皆さん、是非、国労に加入していただきその輪を広げていきましょう。心から国労加入を歓迎します。

今年に入り7名の組織拡大があり、とりわけ長野地本では25歳の女性社員、さらに東京地本では30歳の男性社員に続き、21歳のグリーンスタッフ社員が国労の仲間に加わりました。引き続き、仕事総点検運動や安全総点検運動など全ての取り組みを組織拡大へとつなげましょう！

【長野発】 国労の仲間相談するなかで 何でも話せる信頼関係

東労組内のゴタゴタに嫌気

長野地方本部において、4月1日に国労加入した田中久美さん（上諏訪駅・平成採用）の歓迎会が6日、松本市内で開催された。

歓迎会は、諏訪運輸分会の主催で行われ、分会組合員をはじめ、中南信支部太田委員長ほか執行委員と長野地本佐藤書記長が出席。また来賓として、国労本部浜中書記長、東日本本部伊藤委員長、高野書記長が遠路激励に駆けつけていただいた。

諏訪運輸分会・保延耕一分会会長は、「仕事も考え方もしっかりしている、分会として田中さんをしっかりと支えることも

後の組織拡大にとって大きな弾みとなるものである。本日、松本へ来て田中さんの顔を見て激励できて良かった」、また高野書記長は「昨年に引き続き新規採用者の国労加入に向け全力で取り組もう」と各々激励の言葉が述べられた。

に相談に乗ってもらうなど、何でも話せる信頼関係の中で決意した」と、加入に至る経緯が語られた。その後の酒宴では、出席者全員が田中さんの加入をこころから歓迎し、盛大に行われた。



長野地本としては昨年9月より、3人目の拡大である。現在、各支部において定例的に組織対策

田中さんからは「東労組の組織内でのゴタゴタに嫌気がさしていた。この間、採用から何箇所か転動してきたが、都度国労の仲間



【新潟発】 国労は堂々と議論し 解決できる組織だ

2月22日付けで東労組から国労加入された竹内保さん（直江津運輸区・主任車掌）の歓迎会が3月3日、直江津で開催された。

竹内さんは、国労加入のいきさつや決意を次のように話された。「東労組は誰のためのものか、はつきりした。組織はいろんな考えを持つ人の集まり、国労も多少ゴタゴタがあるが、堂々と議論し解決できる組織だ。焦らずじっくりと足を前に出していききたい。」と胸の内を明かした。

委員会を開催するなかで、重点分会を決め拡大に向けた意思統一を図ってきているが、そのなかで、今年度は新規採用者の国労加入についても全力で取り組むことが確認されている。

今回の田中さんの国労加入を大きな励みとして、さらなる組織拡大に向け全力を挙げる決意である。

【東京発】 青年労働者二名が 連続して国労加入

4月16日、3月28日に東京駅で東労組から国労加入した横田隆さんの歓迎会が都内で開催された。

主催者である東京駅分会の照井分会会長は「国労は仲間を大切にしていることが証明された。現場で働く仲間の意見や不満を集約し問題点の改善を図っていききたい」と歓迎の挨拶をした。

国労加入した横田さんは「20年間東労組にいた。仲間と話しても本音が言えずストレスを感じていた。国労の人たちと話したら、『アーやっぱりこっちなー』と思つて国労に進めたい。」

最後に、大橋分会書記長の音頭で乾杯し懇談にうつった。新橋支部は、横田さんの加入から始まり、4月9日に有楽町駅で1名（30歳）、新宿駅で2名（21歳）のグリーンスタッフ社員加入を勝ち取っている。また、引き続き、社会人採用や新規採用者に対してのアプローチを積極的

がん予防・検診から治療まで、どこでも安心！
健康支援金プラス！
健康応援団 MAX
アベニール 株式会社
03-3437-6810 03-3437-6822
Affac